

背景

企業がAI/MLやデータ主導の意思決定を進める一方で、プライバシー規制とサイバーセキュリティの脅威に対する懸念が高まっています。強固なデータ保護が不可欠となる中、プライバシー強化技術（PETs）が注目を集めています。

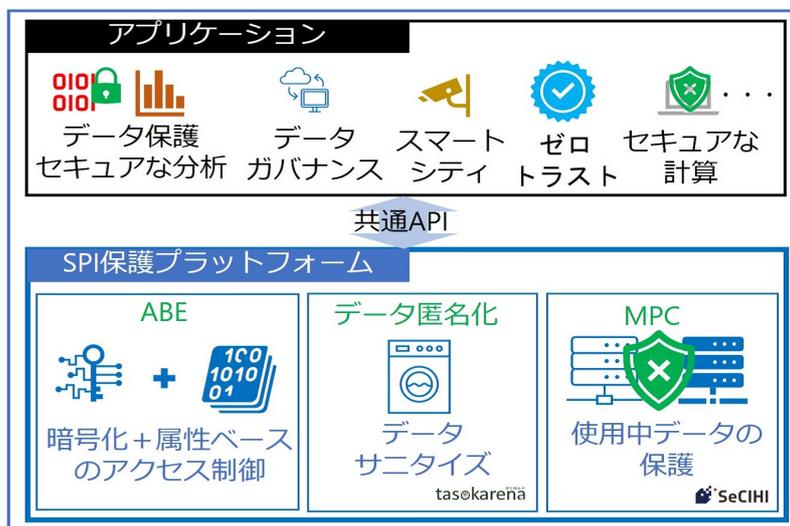
成果の概要

SPI保護プラットフォームは、主要なPETである、ABE、データ匿名化、MPCを容易に利用可能とし、ゼロトラストアーキテクチャ、セキュアなデータ共有、データガバナンス、セキュアタコンピューティングなど、さまざまなユースケースをサポートします。

幅広いユースケースをサポートするSPI保護プラットフォーム

データ所有者からの要望、プライバシー規制など、強固なプライバシー保護とセキュリティ強化が求められる中、研究コミュニティからは、プライバシー強化技術（PET）が登場しています。業界、政府機関、分析コミュニティでは、データ所有者と規制の要求に対する回答としてPETは広く認識されています。

SPI（セキュリティ、プライバシー、完全性）保護プラットフォームは、NTTが主導的な立場で知的財産を所有している多くのPETをパッケージ化してAPIを提供しており、これらの技術を容易に利用可能としています。プラットフォームに含まれる最初の3つのPETは、ABE、データ匿名化、およびMPCです。これらによりプライバシー保護とセキュリティ強化、データの完全性を実現し、幅広いユースケースをサポートします。



技術のポイント

- アクセス制御のためのABE、プライバシー保護のためのデータ匿名化、セキュアなデータ処理のためのMPCなど、さまざまなPETを提供
- アプリケーション開発者やエンドユーザから技術の複雑さを隠蔽し、使いやすさを向上させることで、PET導入の課題に対処
- 耐量子暗号（PQC）など、需要に応じて新機能に対応し、強化し続けるプラットフォーム

この研究がもたらす未来

SPI保護プラットフォームによる、セキュリティ、プライバシー保護、DXの強化を通じて、データ管理リソースを削減しつつ誰もが安心安全にデータを活用可能な、より良い社会をめざします。

出展企業

NTT Research, Inc.、株式会社NTT DATA, Inc.、NTT DATA Romania、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社、NTTテクノクロス株式会社、株式会社NTTデータ、NTT Belgium

問い合わせ先

tech-promotion@ntt-research.com